

【〇〇分野研究開発プラン(仮称)(フォーマット案)】

科学技術・学術審議会研究計画・評価分科会
(第78回)より
R3.8.27

令和〇年〇月〇日
〇〇委員会

1. プランを推進するにあたっての大目標:「〇〇」(施策目標〇ー〇) ※政策評価における「施策名」と「政策・施策番号」を記載する。

概要: 〇〇… ※政策評価における「施策の概要」を転記する。

2. プログラム名: 〇〇分野研究開発プログラム

概要: 〇〇… ※当該分野研究開発プログラムに係る政策評価における施策の「達成目標」を転記する。

上位施策: 〇〇(令和〇年〇月〇日〇〇決定)

※文部科学省が対応すべき内容を抜粋する。 ※別添可

△△(令和△年△月△日△△決定)

⋮
⋮
⋮

(1枚にまとめる)

【〇〇分野研究開発プラン(仮称)／□□研究開発プログラム(フォーマット案)】

〇〇委員会

○重点的に推進すべき取組と該当する研究開発課題、指標

※重点的に推進すべき取組を記載する。

※研究開発課題ごとに概要、目標を記載する。

※指標は、研究開発課題ごとに政策評価、行政事業レビューの指標を参考に記載し、それ以外の指標の設定・変更も可とする。

	2016 (FY28)	2017 (FY29)	2018 (FY30)	2019 (FY31)	2020 (FY2)	2021 (FY3)	2022 (FY4)	2023 (FY5)	2024 (FY6)	2025 (FY7)	2026 (FY8)
	前			中		前	後		中		後
重点的に推進すべき取組を記載	個別の研究開発課題名 概要： 目標： ・政策評価の達成目標における測定指標 ・行政事業レビューにおける成果指標 ・行政事業レビューにおける活動指標 等					個別の研究開発課題名 概要： 目標： ・政策評価の達成目標における測定指標 (案) ・行政事業レビューにおける成果指標 (案) ・行政事業レビューにおける活動指標 (案) 等					重点的に推進すべき取組の結果得られるアウトカムを記載
	前		中			後				中	
重点的に推進すべき取組を記載	個別の研究開発課題名 概要： 目標： ・政策評価の達成目標における測定指標 ・行政事業レビューにおける成果指標 ・行政事業レビューにおける活動指標 等					個別の研究開発課題名 概要： 目標：					重点的に推進すべき取組の結果得られるアウトカムを記載
				前		中			後		
					個別の研究開発課題名 概要： 目標： ・政策評価の達成目標における測定指標 ・行政事業レビューにおける成果指標 ・行政事業レビューにおける活動指標 等						

【環境エネルギー分野研究開発プラン（仮称）】

1. プランを推進するにあたっての大目標：「環境・エネルギーに関する課題への対応」（施策目標9-2）

※ 政策評価における「施策名」と「政策・施策番号」を記載する。

概要： 気候変動やエネルギー確保の問題等、環境・エネルギー分野の諸問題は、人類の生存や社会生活と密接に関係している。このことから、環境・エネルギー分野の諸問題を科学的に解明するとともに、国民生活の質の向上等を図るための研究開発成果を生み出す必要がある。※ 政策評価における「施策の概要」を転記する。

2. プログラム名：環境エネルギー分野研究開発プログラム

※ 当該分野研究開発プログラムに係る政策評価における施策の「達成目標」を転記する。

●達成目標1：気候変動予測技術の高精度化及び地球環境分野のデータ利活用

気候変動に係る政策立案や具体的な対策の基盤となる気候モデルの高度化等により、気候変動メカニズムの解明やニーズを踏まえた高精度予測情報の創出を推進する。また、地球環境データを蓄積・統合解析するデータ統合・解析システム（DIAS）を活用した地球環境分野のデータ利活用を推進するとともに、国、自治体、企業等の気候変動対策を中心とした意思決定に貢献する地球環境データプラットフォーム（ハブ）として長期的・安定的な運用の確立を目指す。

●達成目標2：脱炭素化技術の研究開発と地域の脱炭素化加速に向けた分野横断的な知見の創出

エネルギーの安定的な確保と効率的な利用、温室効果ガスの抜本的な排出削減を実現するため、目指すべきエネルギーシステム等の社会像に関する検討・議論を見据えつつ、従来の延長線上ではない新発想に基づく脱炭素化技術の研究開発を大学等の基礎研究に立脚して推進するとともに、地域の脱炭素化加速に向けた分野横断的な知見を創出する。

上位施策：

※ 文部科学省が対応すべき内容を抜粋する。

※ 別添可

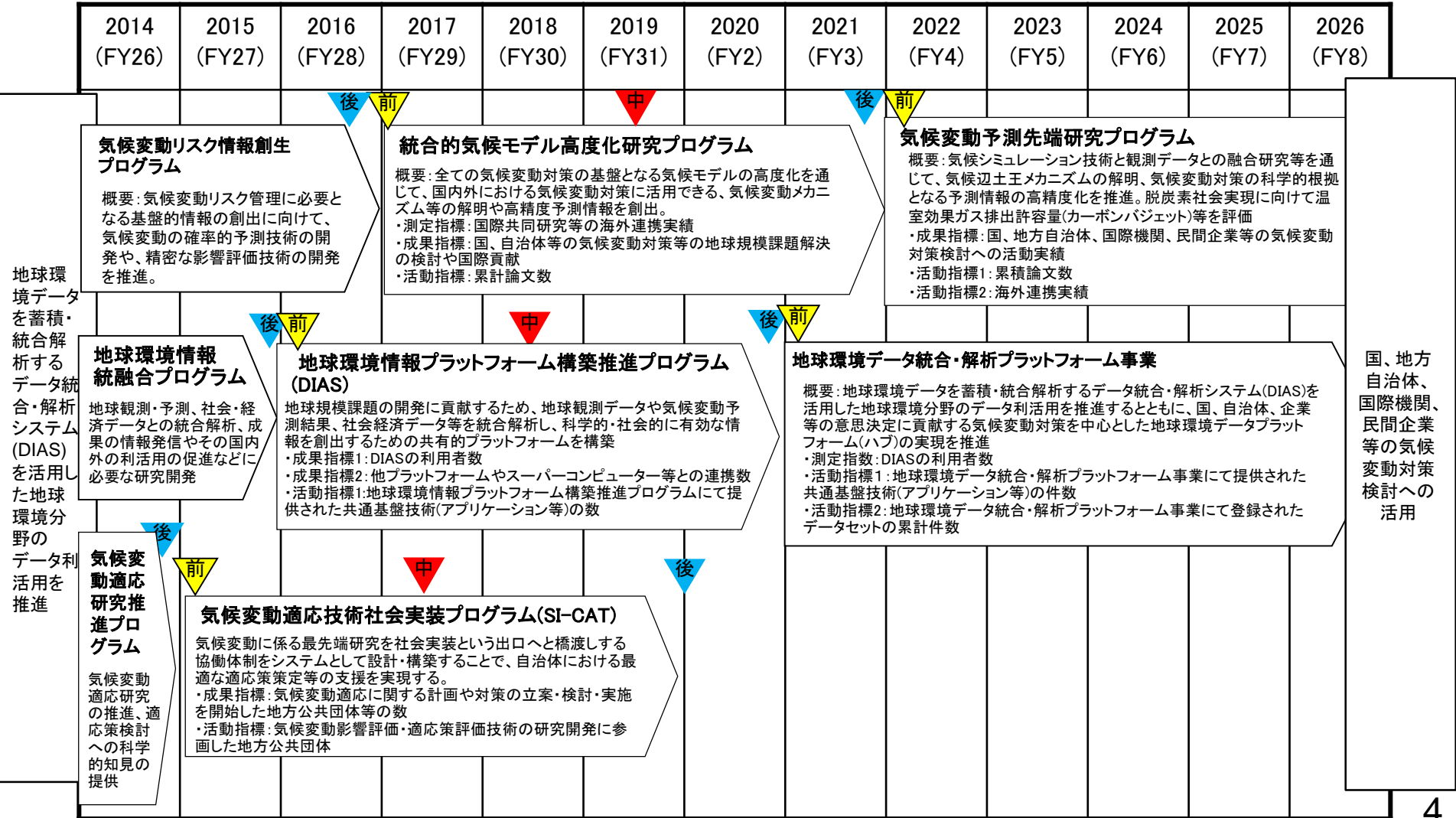
- 第6期科学技術・イノベーション基本計画（令和3年3月26日閣議決定）
- 統合イノベーション戦略2021（令和3年6月18日閣議決定）
- 地球温暖化対策計画（令和3年10月22日閣議決定）
- 気候変動適応計画（平成30年11月27日閣議決定）
- パリ協定に基づく成長戦略としての長期戦略（令和元年6月11日閣議決定）
- 革新的環境イノベーション戦略（令和2年1月21日統合イノベーション戦略推進会議決定）

【環境エネルギー分野研究開発プラン(仮称)／環境エネルギー分野研究開発プログラム】

○重点的に推進すべき取組と該当する研究開発課題、指標

達成目標1. 気候変動予測技術の高精度化及び地球環境分野のデータ利活用

気候モデルの高度化等により、気候変動メカニズムの解明やニーズを踏まえた高精度予測情報の創出を推進する。また、地球環境分野のデータ利活用を推進するとともに、国、自治体、企業等の気候変動対策を中心とした意思決定に貢献する長期的・安定的な運用の確立を目指す。



【環境エネルギー分野研究開発プラン(仮称)／環境エネルギー分野研究開発プログラム】

○重点的に推進すべき取組と該当する研究開発課題、指標

達成目標2. 脱炭素化技術の研究開発と地域の脱炭素化加速に向けた分野横断的な知見の創出

目指すべきエネルギーシステム等の社会像に関する検討・議論を見据えつつ、従来の延長線上ではない新発想に基づく脱炭素化技術の研究開発を大学等の基礎研究に立脚して推進するとともに、地域の脱炭素化加速に向けた分野横断的な知見を創出する。

